

令和8年度 学校経営の基本方針

基本的な考え

地球温暖化による気候変動や自然災害、グローバル化の進展、人工知能（AI）による急速な技術革新など社会状況が大きく変化する中で、確かな学力の定着、豊かな心と健やかな身体の育成といった「社会を生き抜く力」の育成がこれまで以上に求められています。また、子どもを取り巻く環境も、いじめ、不登校、インターネットやSNSによるトラブルなど、複雑かつ多様化しており、課題が山積する困難な状況の中で、私たちは教育活動を推進していかねばなりません。

しかしながら、大野南中学校では、生徒・教職員・地域が築き上げてきた教育の伝統と歴史、そして「南中魂」を継承・発展させながら、変化に柔軟に対応し、さらなる進歩を目指すという姿勢は、今後とも変わることはありません。

私たち教職員は、生徒一人ひとりの思いや願いに応える「ウェルビーイング」の実現を目指し、温かい人間関係や自律した生活を基に、個性を認め伸ばし、学びの実感が得られる教育活動を創造していきます。

その実現に向けて、「生徒にとって最大の教育環境は教師自身（教師集団）である」という気概を持ち、人権尊重の考え方を基盤に、生徒一人ひとりの学びを保障し、豊かな心を育み、自己実現力を高める教育活動を推進してまいります。

学校教育目標

『 憧れ 共に 始めの一步 』

《期待する南中生の姿》

夢を 語れる 南中生

○目標を持ち、自分らしさを求めよう

○お互いの良さに気づく、豊かな心を高めよう

○失敗をおそれず、一步前へ踏みだそう

めざす学校像

- ① 「わかった」「できた」が実感できる授業を展開する学校【学力の保障】
- ② 生徒自らが考え・判断し・行動し・失敗し・振り返り・改善できる学校【主体性の尊重】
- ③ 生徒一人ひとりの居場所が確保されている学校【自己肯定感】
- ④ 和やかで、おもいやりのある学校【協同・調和】
- ⑤ 安心・安全な学校【危機管理】
- ⑥ 家庭・地域に開かれ、信頼や期待を受けている学校【連携・信頼】

めざす教職員像

- ① 「生徒にとって、最大の教育環境は教師自身（教師集団）である」という気概を持って取り組む教職員【教育への思い】
- ② 一人ひとりが明確な目標をもち、主体的・意欲的に取り組む教職員【教育の想像】
- ③ 生徒の教育課題を的確にとらえ、適切に対応できる教職員【支援する教育】
- ④ 互いを尊重し、生徒の発達段階を踏まえ、人権的な配慮や行動のとれる教職員【人権】
- ⑤ 協力・協働を大切にして教育活動を進めることができる教職員【教育の効果】
- ⑥ 家庭・地域と積極的に関わりを持ち、生徒の育ちを喜び合える教職員【信頼関係】

令和8年度 学校経営の基本方針

人権尊重の考え方を基盤に

豊かな心を育み、自己実現力を高める教育の推進

重点項目1 【学力の保障】

学ぶ喜びを実感できる授業を構築し、確かな学力と社会的実践力を育成する

- 1 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を意識し、「主体的・対話的で深い学び」を重視した授業展開
- 2 ICTの活用による学びの保障と情報モラル・セキュリティ教育の推進
- 3 放課後学習会の充実
- 4 総合的な学習の時間や教科での探究的な学習の推進

重点項目2 【豊かな心を育てる】

「心の教育」「シビックプライド」「キャリア教育」などを通して多様な考え方や生き方にふれ、心を育てる

- 1 活動・行事をとおして社会的実践力の習得
- 2 道徳教育の充実
- 3 総合的な学習の時間等を通じて「シビックプライド」意識の推進
- 4 系統性を意識した「キャリア教育」の実践
- 5 夜間学級生徒との交流推進

重点項目3 【自ら考え、判断し、行動する力を育成する】

安心して過ごせる学校の実現のために、あらゆる機会に考えさせる指導を大切にする

- 1 積極的な生徒理解と生徒指導
- 2 生徒会活動を活性化し、生徒の自主・自立・自律の支援
- 3 望ましい人間関係や一人ひとりの居場所をつくり、自己肯定感、自己有用感の育成
- 4 いじめや問題行動を生まない雰囲気作りと土壌作り
- 5 相談活動の充実
- 6 (仮称) 校内支援教室《R8年度新設》の有効活用

重点項目4 【家庭・地域に開かれた学校の実現と小中連携教育の実践】

- 1 魅力と信頼に溢れた教育活動の展開と発信
- 2 小中一貫教育の充実・発展

重点項目5 【学校運営における働き方改革の推進】

- 1 教育活動内容の積極的な見直しと精選
- 2 「限りある勤務時間」を有効に使い、生徒と向き合う時間の確保